

令和7年度 事務事業評価シート（1）

[令和6年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	学校図書館教育推進事業				事業番号	038-034	
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	教育課程		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～		施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
			有	取組の方向性	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.1	
			有	取組	総合的な学力の育成				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画			堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン					
3	事業開始年度			平成 19 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠			教育基本法、学校図書館法、学習指導要領					

事業の概要

5	事業の実施主体		本庁						
6	事業の対象		市内全小・中・支援学校					対象数	単位
								138	校
7	事業の目的		本に親しむことをとおして、豊かな心と自ら学ぶ態度を育成できるよう、児童生徒の読書習慣を定着させる。 また、調べ学習などの学習センター機能・情報センター機能の充実を図る。						
8	事業内容		学校図書館の読書センター機能、学習センター機能、情報センター機能の充実及び開かれた学校図書館の実現を図るために以下の取組を実施 ・学校図書館の充実に資する人材として、拠点校（中1校）に学校図書館職員、他の小・中学校に学校司書を配置 ・学校図書館サポーターを小・中・支援学校に回数配置 ・司書教諭及び学校図書館担当教員、学校司書に対する研修の実施 ・学校図書館職員・学校司書による学校図書館への巡回訪問の実施						
	※国・府の基準より上回って実施した内容		—						
9	主な支出先		会計年度任用職員						
10	公民連携・協働事業		セレッソ大阪との読書推進プロジェクト						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
	「学校図書館等の本を使って調べる活動をよく行っている」と答える児童生徒の割合	%	目標値	—	44	45	45
			実績値	43	32		
達成率			—	73%			
	当該指標を選定した理由	学習指導要領に示されている「学校図書館を児童生徒の主体的対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かす」ことを測る指標であるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市児童生徒生活・学習状況調査					

12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	授業で学校司書等が図書資料を提供した回数（1校あたりの平均）	回	目標値	—	22	23	
			実績値	21	21		
達成率			—	95%			
	当該指標を選定した理由	学校司書等による各学年の授業への図書資料の準備・提供は、児童生徒が学校図書館等の本を活用して学ぶことにつながる指標であるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	学校図書館教育実施報告書（年度末に学校から提出）					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	学校図書館教育推進事業	事業番号	038-034
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト ※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	87,329	89,940	102,778	95,154	114,610
	財 国支出金	4,899	7,794	10,465	9,549	11,072
	源 府支出金	0	0	0		0
	内 市債	0	0	0		0
	記 その他（ ）	0	0	0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	一般財源	82,430	82,146	92,313	85,605	103,538
14	人件費（b）	3,280	3,240	3,240	3,240	3,360
15	年間経費（c）=(a)+(b)	90,609	93,180	106,018	98,394	117,970

事業費の内訳 （単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7				R6	R7		
16	事業費内訳	会計年度任用職員報酬		60,639	60,639	学校図書館サポーター謝礼金等	28,686	19,137		
		R6	決算	60,639	60,639		R6	決算		
		R7	予算	69,720	69,720	研修講師謝礼金	33,216	22,144		
		R6	決算	2,763	2,763		R6	決算	0	0
		R7	予算	8,240	8,240		R7	予算	152	152
		会計年度任用職員通勤費等		2,460	2,460	研修会場等借上料	13	13		
		R6	決算	2,460	2,460		R6	決算		
		R7	予算	2,482	2,482		R7	予算	100	100
		学校図書館職員報酬		517	517	研修会用消耗品費	0	0		
		R6	決算	517	517		R6	決算		
		R7	予算	522	522		R7	予算	10	10
		学校図書館職員期末勤勉手当		76	76		R6	決算		
		R6	決算	76	76		R6	決算		
		R7	予算	168	168		R7	予算		
		学校図書館職員通勤費等					R6	決算		
		R6	決算				R6	決算		
		R7	予算				R7	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	①	授業で学校司書等が図書資料を提供した回数	2,835	2,835
	②	上記①にかかる年間経費	93,180	98,243
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	32,868	34,654
	算出についての説明等		学校図書館教育推進事業に係る学校図書館活用報告書	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・学校司書の全小中学校への配置により、児童・生徒が利用しやすい学校図書館へと環境整備が進み、開館日数は昨年度に比べ、小学校で129回、中学校で197回増加した。 ・授業で学校司書等による図書資料の1校あたりの平均提供回数は、昨年度と同様の21回だった。司書教諭や学校司書を対象とした研修において、学習センター機能・情報センター機能の充実に重点を置き、事例紹介やグループワークを実施してきたが、図書資料の提供回数の増加は見られなかった。 ・堺市児童生徒生活・学習状況調査における「学校図書館等の本を使って調べる活動をよく行っている」の質問に対する肯定的回答率は令和5年度と比較し12%減少した。小学校3年生から学年があがるごとに肯定率は低下し、特に中学校の調べ学習における図書館離れは顕著である。 ・1人1台のタブレット端末の配付により簡単に検索できるようになったことが要因の1つだと考えられるが、紙とデジタルのそれぞれのよさを子どもが理解し、必要に応じて情報源を選択し、使い分ける力の育成が必要である。今後は、探究的な学びの実現に向けて学校図書館を活用する学校の実践を本市が発信し、情報活用能力の育成を推進する。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	本事業は、読書センター・学習センター・情報センターとしての学校図書館の活性化を図ることで、豊かな心の育成や総合的な学力の向上に寄与する。また、SDGsターゲット4-6の「子ども読書活動の推進」の達成に向けた取組となっている。
----	---